

### 第三回反復違法行為対応研修会開催にあたって

我が国の犯罪発生率は、発展した国々の中では低いレベルにあります。この比較的良好な状態を支えている重要なものに、刑事司法体系が違法行為を厳正に取り締まり、刑罰を与える態勢をもっていることが挙げられます。社会を平安に保つために、この先も刑事司法体系はその態勢を保たなければなりません。

一方で、薬物乱用や窃盗、痴漢、放火、ストーカー行為等は刑罰で対応しても再び同じ行為が繰り返されることがしばしばあります。これは、それらの違法行為に対して判決の内容や刑罰の再犯予防効果が限定的であることを示しています。その原因は反復される違法行為の多くが疾病状態に基づくので、刑罰の効果が対応しないからです。反復傾向のある違法行為には治療も必要なのです。

しかしながら、医療施設の多くは、反復される違法行為に対応することに消極的です。これは思考では止められない行動が生じるメカニズムの正しい理解と効果的な治療が広まっていないこと、並びに、患者の違法性を医療従事者が取締機関に通報するか否かの方針が定まっていないことが挙げられるでしょう。この不良な医療の態勢は、一旦違法行為を生じる疾病に罹患した多くの人に服役を反復させ、また、悲惨な事件の原因となる疾病を放置するものになります。

当院では条件反射制御法を用いて平成18年から物質使用障害への対応を開始し、後に、病的窃盗、性嗜好障害、病的放火、ストーカー行為等へ適用を広げ、高い効果を上げております。また、その技法に対するヒトの反応を検討し、行動原理を把握したことから、疾病状態が影響して生じる違法行為に刑罰と治療を円滑に提供する準備をして、初犯も再犯も効果的に予防する制度を構想しました。

この研修会ではまずはヒトの行動原理を解説し、それに基づいて違法行為が反復されるメカニズムを示し、その行為の原因となる疾病状態に対する治療法をお伝えします。その後、現在の刑事司法体系の不備を確認し、精神科医療とその周辺の機関で構成される刑事司法体系と治療体系が成立させるべき連携のあり方、並びに、限定的ではありますが、その実践をお伝えします。研修の最後には改訂刑法私案を示し、違法行為を反復する者の疾病性と犯罪性に対して、行動原理に従って合理的に治療と刑罰を言い渡す裁判のロールプレイを行います。反復される違法行為に効果的に対応する技法と制度に関して理解が深まるはずです。

皆様のご参加をお待ちしております。

平成30年3月30日

各 位

独立行政法人国立病院機構下総精神医療センター  
院 長 女 屋 光 基  
薬物依存治療部長 平 井 慎 二

## 第三回反復違法行為対応研修会 募集要項

### 1. 目的

この研修では、まずは、生命が生じ、植物と動物に分かれ、動物が反射的に行動を司る第一信号系のみで活動して進化する中で、思考して行動を司る第二信号系ももつヒトが生まれ、その結果、ヒトの行動が、第一信号系と第二信号系の関係において決定されるようになったことを示します。

それを基に、薬物乱用や窃盗、性的加害行為、放火、ストーカー行為等の違法行為が反復するメカニズムとそれをとめる技法をわかりやすく解説します。

また、違法行為が生じるメカニズムに従って、違法行為を予防し、違法行為を反復する者を回復させ、事件を減少させるために、刑事司法体系と治療体系が効果的に連携する体系とその制度を、各分野の特性に従って導き出します。

さらに、違法行為を反復する者が治療体系に関わった場合に法の抑止力を処遇に設定する技法、並びに、違法行為を反復する者が検挙され刑事司法体系にかかわった場合に、ヒトの生理に従い、また社会を守るという法的な観点からも、自然で合理的に、刑罰と治療の両方を言い渡す裁判のあり方をロールプレイで確認します。

上記を通じて、違法行為を反復するヒトの生理的なメカニズムに従い、主には取り締まり処分する刑事司法体系と、主には受け入れ回復を支える治療体系が効果的な制度を成立させる方法をお伝え致します。

### 2. 実施主体：独立行政法人国立病院機構 下総精神医療センター

### 3. 研修予定

#### 1) 開催日時

平成30年6月8日(金) 9時00分～17時10分まで

#### 2) 研修会場

〒266-0007 千葉県千葉市緑区辺田町578番地 下総精神医療センター 2階会議室

#### 3) 研修内容：別紙「日程表」を参照

#### 4) 定員：50名

### 4. 受講申し込みについて

#### 1) 受講資格：違法行為に対応する下記の職種で全プログラムを聴講できる方

- ・取締、検察、裁判、更生保護、矯正等の職員
- ・教育、保健、医療、福祉、社会復帰支援等の職員

#### 2) 申し込み方法

##### ①WEBから申し込む場合

ホームページ上の専用申込フォームへ必要事項をご入力の上、送信してください。

※メールアドレスの入力が必要です。添付文書を含むE-mailのやりとりにお差し支えないアドレスをお願いします。(携帯アドレスはご遠慮ください)

※申し込まれた方には自動返信メールをお送りしております。申込から3日程度以内に受付完了通知が届かない場合、お手数ですが事務局までご連絡ください。

②郵送、FAX、E-mailで申し込む場合

同封の申込フォームもしくはホームページからダウンロード（Word, PDF）して郵送、またはFAX、E-mailで送信してください。

FAX : 043-291-2602 E-mail : kusuri@hosp.go.jp

3) 募集期間：第一次：平成30年4月1日～4月20日まで

第二次：平成30年4月21日～5月10日まで

5. 受講者決定について

受講希望者が定員を超えた場合には、職種別人数の割合等を考慮して決定します。

受講の選考結果については、第一次申込の方は平成30年4月30日までに、第二次申込の方は5月20日までに各応募者に通知します。

ご都合によりキャンセルをされる場合は、必ず事務局までご連絡ください。一人でも多くの方にご参加いただけるよう、ご協力をお願い致します。

6. 修了証書の授与について

所定の研修課程を履修した方には修了証書を授与します。

7. 研修受講料について

① 受講料9,000円（資料代込み）

受講の決定通知と同時に振り込みのご案内を申し上げます。

受講料振込後の受講者のご都合によるキャンセルの場合、受講料は返金いたしかねます。  
（事前にキャンセルの連絡をいただいた方には、後日研修資料を送付いたします。）

② 昼食について

研修会場の周囲には飲食店はございません。

希望される方はお弁当を手配致しますので研修申込時にご記入ください。

代金は、研修当日受付にてお支払い願います。（1食500円を予定）

③ 懇親会について

当日18時45分より懇親会を行います。皆様のご参加をお待ちしております。

研修申込み時に参加希望か否かをご記入ください。

代金は、研修当日受付にてお支払い願います。（参加費5,000円を予定）

なお、当日キャンセル時の払い戻しはできませんので、予めご了承ください。

8. 研修に関するお知らせ

① 研修中の録音、写真及び動画撮影は許可のある関係者以外ご遠慮いただいております。

② 参加者様同志の交流を目的とし、配布する名札・座席表には所属・氏名を記載させていただきます。

9. 研修会についての問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構下総精神医療センター 研修会事務局：寺内

TEL : 043-291-1221（内線：3007） FAX : 043-291-2602

E-mail : kusuri@hosp.go.jp

## 第三回反復違法行為対応研修会 日程表

日 時：平成30年 6月 8日 (金)

場 所：国立病院機構下総精神医療センター会議室

日 程	講 義 題	講師名 (敬称略) (下総：下総精神医療センター)
08:40～	受付	
09:00～	開講式：開講挨拶 オリエンテーション	下総 院長 女屋光基、事務局
09:10～10:30	1. 進化と条件反射と行動原理	下総 薬物依存治療部長 平井慎二
10:30～10:40	－ 休憩 －	
10:40～11:00	2. 条件反射制御法と他の働きかけの役割分担	同上
11:00～12:00	3. 刑事司法体系の変遷と今後の方向	最高検察庁 刑事部 検事 城祐一郎
12:00～13:00	－ 休憩 －	
13:00～14:00	4. 行動原理に適った司法と医療の∞連携	下総 薬物依存治療部長 平井慎二
14:00～14:30	5. 反復違法行為者の責任能力と対応する裁判	同上
14:30～14:40	－ 休憩 －	
14:50～16:50	6. 行動原理に従い刑罰と治療を言い渡す裁判	聴講生全員 (ロールプレイ)
16:50～17:00	研修内容に関する質疑と応答	
17:00～17:10	閉講式	事務局
17:10～17:40	病棟見学 (希望者のみ)	専門病棟看護職
18:45～	懇親会 (希望者のみ)	

※当日の進行あるいは研究の進行等に従い、プログラム内容時間が変更されることがございます。

# 申込みフォーム（第三回反復違法行為対応研修会）

FAX : 043-291-2602

E-mail : kusuri@hosp.go.jp

平成30年6月8日（金）の研修会に下記のとおり参加を希望します。

フリガナ .....

氏 名 ..... ( ..... 歳)

所属機関 .....

所在地 〒 .....

電話番号 ..... FAX 番号 .....

E-mail アドレス ..... @ .....

※携帯アドレス不可。Word 等添付文書の受信が可能なアドレスをお願いします。

※上記 E-mail アドレスに、今後の研修会等のご案内もお送りいたします。

ご案内が今後ご不要な場合は、下記の□にチェック（✓）をご記入ください。

案内を希望しない

職 種 ..... (資格 .....

役 職 .....

昼食（弁当）希望の方は、下線部に○印を付してください。

6月8日（金）昼食を希望 .....

懇親会に参加される方は、下線部に○印を付してください。

6月8日（金）懇親会への参加を希望 .....

※昼食申込・懇親会参加の当日キャンセルは出来ませんので、予めご了承ください。